

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年4月3日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年4月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機非常用ディーゼル発電機(B) 過給機排気配管フランジ部からの気体の漏えいについて】 当社社員が、5号機非常用ディーゼル発電機(B)点検後の試運転において、過給機排気配管保温材から排気ガスと思われる気体の漏えいを確認。 試運転を中断し、当該配管の保温材を取り外したところ、排気配管のフランジ部に漏えい痕を確認。 今後、排気配管の交換及びフランジ部のガスケットの交換を検討する。 なお、5号機非常用ディーゼル発電機(A)が待機状態であり、系統機能に影響はない。</p>	G III	4月2日
2	<p>【増設雑固体廃棄物焼却建屋のシャッターの不具合について】 協力企業作業員が、増設雑固体廃棄物焼却建屋のシャッターが開状態から閉止しない状態となっていることを確認。 設備メーカーが現場を確認したところ、シャッター上部の一部に歪みがあることを確認。 現場状況から、位置検出器が作動しなかったため、シャッターの動作が止まらず一部に歪みが発生したものと推定。 今後、シャッターの修理および再発防止対策を検討。</p>	G III	4月1日
3	<p>【共用プールの燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)しゃ断器の不具合について】 当社運転員が、共用プールの燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)点検後の電源復旧のため、当該ポンプ用しゃ断器を挿入操作した際、「接続」位置まで挿入できないことを確認。 なお、しゃ断器は「試験」位置で止まっていたことから、当該しゃ断器の不具合により、挿入ができなかったものと推定。 現場において、当該しゃ断器の不具合箇所を特定し、当該しゃ断器の挿入操作を行い、動作良好を確認。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G III	3月29日